

裁判例からみる法人税法〔2訂版〕

著者 酒井 克彦 著

定価 3,889 円(税込 4,200 円) *ファルクラム会員は 3,400 円(税込)

内容 H29.1 大蔵財務協会より刊行

法人税法の仕組みと考え方を正しく理解していただけるよう法人税法解釈の指針となる重要裁判例を数多く収録し、実際の裁判において示された当事者の主張や裁判所の判断を通じて法人税法を理論的・体系的に解説した一冊です。

目次

第1章 法人税の性質

- 1 法人税の課税根拠
- 2 法人税の性質
- 3 法人税と所得税の統合

第2章 法人税の種類と納税義務

- 1 法人税の種類
- 2 納税義務者
- 3 実質所得者課税の原則
- 4 法施行地・納税地

第3章 課税標準・税額の計算構造

- 1 法人税の課税標準
- 2 税額の計算構造

第4章 益金の意義と範囲

- 1 益金の額の計算
- 2 課税の時期

第5章 損金の意義と範囲

- 1 損金の意義
- 2 売上原価等(1号原価)
- 3 販売費・一般管理費等(2号費用)
- 4 3号損失
- 5 その他の費用・損失
- 6 準備金
- 7 繰越欠損金
- 8 債務確定基準

第6章 組織再編成とグループ化

- 1 組織再編税制
- 2 連結納税制度
- 3 グループ法人課税制度

第7章 法人税額の計算・申告

- 1 計算
- 2 申告
- 3 申告の是正
- 4 附帯税

○事項索引

○裁判例・裁決例索引